

＜技術倫理の最前線Ⅱ＞
～科学技術と社会をどう結びつけるか～

開催趣旨：

最近の科学技術の巨大化、複雑化、高度化は、その社会への影響が今まで以上に益々大きくなりつつあります。このため、社会に深く係わることになる科学技術および科学技術者の在り方について、倫理的な面から考察していく必要性も一層高まっています。

前回の第11回公開シンポジウムでは、＜技術倫理の最前線～社会に深く係わる技術の倫理問題を考える～＞として、エンハンスメント、地球温暖化、自動運転技術等を事例として、その倫理的課題や対応策、科学技術者のあり方ほかを議論しました。

今回は、第二弾＜技術倫理の最前線Ⅱ＞として、次世代の革新的新技術や社会インフラ技術などを事例として、科学技術が社会に受け入れられるために、科学技術者自身および学協会、教育組織、企業等が果たすべき役割と検討すべき課題、解決策などについて議論します。

プログラム

総合司会：石橋 邦夫 幹事

1. 開会挨拶 (13:00～13:05) 日高 邦彦 議長
2. 講演 1 (13:05～13:40) 「人工知能をめぐる社会的合意の必要」
(東北大学大学院文学研究科 准教授)
村上 祐子 氏
3. 講演 2 (13:40～14:15) 「自動運転の最新動向と社会受容性について」
(一般財団法人日本自動車研究所代表理事、所長 (東京農工大学 名誉教授))
永井 正夫 氏
4. 講演 3 (14:15～14:50) 「3.11 と土木技術者の倫理」
(東京都市大学工学部都市工学科 教授)
皆川 勝 氏
5. 講演 4 (14:50～15:25) 「技術者倫理の実践」
(技術士 (情報工学))
橋本 義平 氏
6. 講演 5 (15:25～16:00) 「社会的合意形成? : ～リスクコミュニケーションの在り方～」
(大阪大学 理事・副学長)
小林 傳司 氏
- (休憩：16:00～16:10)
7. パネルディスカッション (16:10～17:20)
 - ・テーマ：「科学技術と社会をどう結びつけるか」
 - ・パネリスト：村上 祐子 氏、永井 正夫 氏、皆川 勝 氏、
橋本 義平 氏、小林 傳司 氏
 - ・コーディネータ：札野 順 氏 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 教授)
8. 意見交換・交流会 (17:40～19:00 (予定)) 会場：森戸記念館 2階第3会議室